

# JCwave

Hamamatsu [はままつJCウェブ]

(社)浜松青年会議所 広報マガジン

魅力ある地域の創造をめざし!



2009 WINTER



ホームページもぜひご覧ください!

<http://www.hamamatsujc.or.jp/>

浜松JC

検索

対談

## 女優 鈴木砂羽さん & 望月聖之 理事長

浜松JC

## 2009はままつ歌劇団事業報告 2009年度年間事業紹介 望月理事長挨拶



Hamamatsu JC Wave 2009 Vol.4

## 望月理事長挨拶

日頃は、(社)浜松青年会議所(浜松JC)に対して、地域の皆様はじめ多くの皆様にご多大なるご理解と心遣いをお支えを賜り誠にありがとうございます。  
また、この度は、浜松JCが発刊しております広報誌【JC-WAVE】をご覧いただき、重ねて感謝申し上げます。  
浜松JCは、今日まで先輩諸兄がこの地域(浜松)で築かれた59年の歴史を振り返りながら、今の時代にあつた「まちづくり」や「ひとづくり」を我々青年期の使命と捉え、展開をして参りました。そして本年度は特に「魅力ある地域創造(強幹)」のスローガンのもと、「浜松」を更に魅力的な地域とし、市民一人ひとりが、安心感や安堵感に満ち溢れた暮らしができて、この地域に誇りを持つことができる地域の実現を目指すことに使命感を抱きながら、様々な皆様のご協力のもと運動・活動を進めて参りました。  
許す、様々な不安や問題が問いただされている日本において、古き良き文化や歴史に感銘し必要なものは「継承」しながらも、新しいものを生み出していくという、「進化」を成し遂げることが今の時代には必要であると考えております。風光明媚な自然環境と温暖な気候に恵まれながら、世界に誇れる企業が数多く存在し、不屈の精神「やままいか」が市民に宿る、魅力溢れる地域である浜松だからこそ、一人ひとりが自らの手で未来に繋ぐ大切な役割を、落実した行動に移していくことが必要だと考えております。このようなことを思いながら、我々JCは、青年期のまだまだ人生においては若葉期の集まりではありますが、与えられた運命というものをから逃げることなく、それに挑み続ける大人でありたいと強く己に言い聞かせながら、今後ともJC運動や活動を進めていかなければならないと考えております。  
引き続き多くの皆様には多大なるご理解ならびにご支援を賜りますことを心からお願いするとともに、本年1年間多くの皆様にお世話になりましたことを心から感謝し、(社)浜松青年会議所第59期理事長としての御礼の挨拶とさせていただきます。  
本年年度(新年賀詞交歓会)のあり、発信したメッセージを記載させていただきます、結びとさせていただきます。本年1年間本当にありがとうございました。

(社)浜松青年会議所 第59期理事長 望月 聖之



この世に生まれたことを喜びとし、  
浜松という地に縁があったことを誇りに思い、  
自分でなく誰かのために行動を起こすことを美徳とする。  
二度とない人生だからこそ、悔いを残さず生きていきたい。  
誰からも愛される魅力ある地域創造のために!

(社)浜松青年会議所 第59期 理事長基本方針抜粋

【はままつJCウェブ】

〒430-8191 浜松市 東区 1-1-1 1F 053-454-4121 Fax:053-454-5263 E-mail:room@hamamatsujc.or.jp URL: http://www.hamamatsujc.or.jp

## 新会員募集



(社)浜松青年会議所では、2009年度の新入会員を募集しています。「明るいまちな社会」の実現を目指す青年会議所運動の基本は、地域の産業を担う青年経済人が人的ネットワークを広げ、さらには青年会議所の各種事業を通じて切磋琢磨し、新しい経済情勢のなかでも力強いリーダーシップを発揮できる「人財」を育てることにあります。「一人でも多くの、志を高く持つ仲間に出会いたい」との一念で会員拡大事業に取り組みしております。



JCってなに?  
青年会議所は、活動の基本を「専仕」「専業」「友情」に置き、会員は「明るいまちな社会」を築き上げることを共通の理念としています。また会員相互の啓蒙と交流を図り、公共心を養いながら、地域社会の発展と平和に貢献することを目的としています。



入会について  
●青年会議所の目的と意義に共感し、自発的な意思と情熱を持っていること  
●浜松市及びその一円に居住する満20歳以上40歳未満の未婚者であること  
●最低月1回開かれる例会と委員会に出席できること  
●健全な社会人としての教養と良識のある方で正常な事業に従事していること

JC入会のメリット  
『仕事が増えなくて困窮がない』と思っている方こそ入会によって得られるものは多いと考えます。社会人にとって時間のコントロールほど難しいものはありません。自分自身の時間の使い方が上手なことを知り、さらに上手になるには簡単な方法があります。それは自分よりも上手な人に出会い、一緒に活動して学ぶことです。新たな自分の発見、よい影響を互いに与え合う人間関係、自分の仕事にフィードバックできる活動。そこにJCのよさがあります。

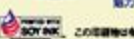
お問い合わせ先  
(社)浜松青年会議所 会員拡大委員会  
TEL:053-454-6721 FAX:053-455-3563  
E-mail: room@hamamatsujc.or.jp



## 編集後記

Editor's note

JCは単年制であり、不連続の出版により、よい事業を目指して活動しています。このJCウェブも、毎年ほんのりメンバーが、違った雰囲気のある記事を創り出して作ります。引き続きご愛読いただければ幸いです。一年間JCウェブをご愛読いただきまして誠にありがとうございました。  
魅力あるJC関係委員会/高田真由美、山岸博子、鈴木健太郎、渡辺美穂、野間聖太郎、堀田英樹、大杉直也、高橋広美、杉山真由美、鈴木信樹、中村隆、藤川直文、山内貴史



この誌物の内容を複製してはならない旨の記載をしております。



JCは「青年会議所(JC-Junior Chamber)は「明るいまちな社会の実現」という同じ理想と使命感を持つ若い世代の人々を広く集め、友情を深めつつ、強く奮闘し、創造して若さが持つ未来への発展の可能性を自分達の力で積極的に描き出し、青年の情熱から生まれる果敢な行動を鼓舞すべく組織された団体です。」







# 特集記事 2009はままつ歌劇団



竹舗役：新村宣敏

公演を観に来ていただいた皆様、御協力、応援していただいた皆様、本当にありがとうございました。練習では、色々ご心配をおかけしたと思います。私はびびり者であり、分かっていないことを見つけていく中で、そして準備が十分とは言えない中、先生方や共演者の皆さんは優しく、厳しく、アドバイスして下さり、支えていただきました。スタッフさん、いつものように来てはフンドリーに声をかけてください。分からないところでボスターやチケット、舞台セットなどを作って下さったりと、大変お助かりです。皆さんのそういった気持ちがとても嬉しかったです。JCの方はもちろん、先生方をはじめ、出演者の皆さん、スタッフさん、職員の方や家族などなど、たくさんの方の気持ち、協力があったことと改めて感じています。

公演当日は、観に来てくれたお客さんの中に、名古屋からきてくれた知人、友人もいました。また、小学校時代にお世話になった先生のお子さんもいました。

僕は、サンタさんのようになれたでしょうか。それとも、たかさんの身近なサンタさん?もかけがえのないものをいただきました。

今回の練習、公演の思い出や余韻は「料理(セリフより)」に、いや、これらに活かされたいと思います。皆さん、本当にありがとうございました。

妖精役：佐野 健

かけがえのない時間を、大切な仲間と過ごせて、一つのものを作りあげることができて、アツという魔の5ヶ月間でした。皆さんと一緒に過ごせたこの5ヶ月、舞台を作り、一緒にたつことができて、本当に良かったです。こうして舞台が終わった今も胸が熱くならない、みんなのキラキラした笑顔が私の胸の中に残っています。JCの皆さんのご尽力で、はままつ歌劇団というものがあって、公演までの稽古場所、自主練習場所の確保など多くのサポートをしていただきました。また色々な場面で盛り上げていただいた、本当に感謝しています。素敵な先生方にも出逢えました。先生方のご指導があったから、演技も歌もダンスもできました。そして大切な仲間とも出逢えました。皆さんがいてくれたから、僕の笑顔とやる気、優しさがあったから、辛いことも苦しいことも前向きになれて乗り越えることができました。私は稽古時間に関わらないことが多くて、ご迷惑をおかけしたと思います。運れてきた私をいつも皆さんが笑顔で迎えてくれたので、頑張ろうと思えることができました。支え合うこと、助け合うこと、協力し合うこと、思いやること、励ましあうこと、お互いを高め合うこと、努力し合うこと、そして「笑顔」です。どれも私1人だけではできなかったと思いますが、皆さんのおかげで私も成長できたかなと思います。すぐく離れた環境の中で、最高の皆さんと出逢えて舞台にたつことができて、「ありがとうございました」の気持ちでいっぱいです。感謝の気持ちを忘れずにいきます。

本番中は、舞台の地から皆さんの演技を観て、気迫を感じ、胸が熱くなりました。舞台に出た方も、影でサポートしていただいた方も、みんなが、みんなキラキラしていました。公演後のお客様にも笑顔が見られ、観に来ていただいた方を「笑顔にしたい」というみんなの気持ちが伝わったのかなと思います。それは、舞台に立った私たちだけでなく、JCの皆さんの力や想いで創った舞台で、みんなが笑顔で頑張れたから、素敵なものが創れたと感じています。本当にありがとうございました。



妖精役：榎加奈子

私は、仕事に追われる日々から抜出して、市民で創る歌劇団という事業を知り応募しました。講師の方々には、プロとしての心得と、今迄私が知らなかった演劇の世界を教えてくださいました。そして、稽古を通して、仲間や自分を信じ、周りの人達を大切に思いやる気持ち、少しでも良いものにしようとする向上心を感じました。

公演当日は劇団員、講師陣、客演陣、JCの方々のキラキラした笑顔で溢れていました。そして、観に来ていただいたお客様が、私たちの舞台をそれぞれ感性でキャッチして感動し、楽しみ、喜びを見出し、笑顔で過ごしていただけたと思います。

歌劇団で出会った仲間は私にとってかけがえのない存在です。一腔懸命で同じ目標に向かって突進してきた半年間、本当に素敵な時間でした。そして、自分より若い子から人生の先輩まで、様々な世間に属した方々との出会いがありました。一人一人、本当に個性的で、話をしていると、知らなかった世界観や多様な価値観に触れることができ、大変有意義な

時間を過ごすことができました。

公演が終わってからは大きな喪失感に襲われました。でもそれは、半年間充実した時間だった証です。ただ単に思い出にすぎるだけでなく、この経験から得たことを活かして、何事も笑顔で頑張っていきたいです。そして、かけがえのない仲間達との絆を未来永く大切にしていきたいです。本当にありがとうございました。



10月24日(土)浜松市勤労会館Uホールにて はままつ歌劇団公演(第1公演14:00~、第2公演17:30~)が行われました。団員、スタッフを一般公募し、4月のオーディションに始まり、5月から約5ヶ月間稽古を重ね、経験者も未経験者もスタッフも皆一丸となってこの日に向けて頑張ってきました。舞台上では思いやり、アクションあり、ダンスあり、歌あり、笑いありの感動の90分間でした。フィナーレでは団員全員が舞台上に並び、観客の皆様からは多くの拍手をいただきました。団員そしてスタッフの皆さん本当にありがとうございました。



## 【怪傑三太丸】あらすじ

夏休みを迎えて北極にあるサンタランドのサンタクロース達にも休暇が与えられる。日本担当サンタの大原松太郎も、10年ぶりに実家に戻ることが許される。助手の妖精のトントとも日本に帰ってきた大原松太郎を迎えるのは、鬼子竹舗と練の杉原として中学2年生になる孫娘のみすず。サンタランドの長老から固く口止めされていたにもかかわらず、松太郎は自分がサンタクロースだと言ってしまいが、竹舗や練はまったく取り合わない。だが、孫娘のみすずだけは松太郎がサンタクロースだと信じている。それは人間目には見えないはずのトントが見えるから。人間としてのきれいな心をまだ保ち続けているみすずは、松太郎に戦国時代の邪悪な主人公、清原に会わせてくれ、と松太郎に頼む……。



## 担当委員長挨拶

10月24日(土)浜松市勤労会館Uホールにおきまして、昨年引き継ぎ第2回目ははままつ歌劇団公演を開催することができました。当日は土曜日ということで大変お忙しい中、またお足元の悪い中での開催にもかかわらず大変多くの皆様にご来場いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

開催1時間前から多くの市民の皆様に入場口前にお集まりいただき、公演直前には、はままつ歌劇団メンバーのボルテージも最高潮に達していました。多くの市民の皆様にご来場いただいた中で行われた、2009はままつ歌劇団公演「怪傑三太丸」は、日本担当サンタクロースが孫娘の悩みを解決するために、様々な騒動を巻き起こす笑いあり、チャンバラあり、感動ありの、大人から子供まで楽しめる内容であったと思います。会場からは笑いや歓声が上がり、公演終了時には大変大きな拍手をいただきました。ミュージカルという文化を通じ、ステージから市民に向けてメッセージを発信し、ご来場いただいた市民の皆様にはこの演目に込められた、「笑顔の大切さ」「豊かな心を育むことの大切さ」という2009はままつ歌劇団の想いを感じていただけたのではないかと感じています。

3月の団員・スタッフ募集から始まり、4月のオーディション、5月から始まった稽古だけでなく、公演前日のゲネプロから公演当日の設営に至るまで、本当に多くの方々に支えられてこの公演を無事終えることができました。ご来場いただきました皆様、ご協力いただいた全ての皆様に対して心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

10月度例会「2009はままつ歌劇団公演」夢ある浜松創造委員会  
委員長 宮本 武



# 2009年度年間事業紹介



## 6月

### 公開例会 森田真澄氏講演

6月14日(日)アクティシティ浜松大ホールにて6月度公開例会 森田真澄氏講演会「試練が人を磨く」が行われました。会場には1500人の市民の皆様が参加して下さいました。森田氏は勇気、お客様と触れ合いながら、とても和やかに楽しい講演会となりました。



### 専断オーケストラ教室

6月21日(日)天竜区の浜松市立嶺山小学校にて 第39回浜松交響楽団移動オーケストラ教室が開催されました。会場には嶺山小学校の皆さんをはじめ、保護者の皆様、地域住民の皆様が参加されました。生のフルオーケストラ演奏はもちろん、全ての楽器紹介や指揮者体験など移動オーケストラ教室ならではの催しが行われました。

緑がわさびに似る緑色の心地よい電球の光に!!



### 入会式(後期)

7月9日(木)グランドホテル浜松にて7月度例会入会式が行われました。後期入会者は6名で、前期と合わせて16名が今年度浜松青年会議所のメンバーとして加わりました。新く講演会では昨年度の日本JC専断理事成松先輩にお話し頂き、「この時代を力強く生き抜くには、そしてJCがするべきこと」と題してご講演を頂きました。



## 7月

### 衆議院選挙公開討論会

8月11日(火)静岡文化芸術大学講堂にて 衆議院選挙静岡第8区公開討論会が参加し約1時間半の長、白熱した討論会が開催されました。コーディネーターによる質問に順番に答えたり、他候補者からの質問に答える形式の討論会を行いました。この公開討論会によって各党、各候補による政策の違い、人柄が分かり、有権者にとって大変参考になる公開討論会となりました。



## 8月

### SUNSHINE FESTIVAL 2009

8月9日(日)遠州鉄道第一通り駅前にて SUNSHINE FESTIVAL 2009 が開催されました。ユニテッドチルドレンのメンバーや浜松市内の中高校生が当日の運営はもちろん全段階から携わりました。当日メインステージでは地元出身のアーティストによるライブやダンスの他、市内高校生によるスクールコレクション、ミニライブなどが行われました。またサブエリアでは種々の様々な企画、スイーツデコ作成体験などが行われました。



### 静岡ブロック会員大会

9月6日(日)マリナーパーク前庭にて 第42回静岡ブロック協議会、ブロック会員大会が開催されました。静岡県下の各地青年会議所のメンバーが集まり、晴天のもと各地の食ブースなどが並びました。大会の最後には「大会の劇」の伝達式が行われ、浜松JCへと渡りました。次年度、浜松の地で、浜松JC主催のもと静岡ブロック会員大会が行われます。



## 9月

10月 はままつ歌劇団公演  
特集ページをご覧ください。

## 10月



## 11月

公開委員会事業 11月5日(木)可美中学校にて「世代を超えて考える明るい豊かなまちづくり」が行われました。4月の公開例会の講師、藤原先生のお話から発展して行われた事業です。普段とは違った地域の大人が入った授業となりましたが、生徒達から活発な意見が出る大変斬新な授業となりました。

## 1月

### 新年賀詞交歓会

1月4日(日)グランドホテル浜松にて2009年度新年賀詞交歓会が行われました。およそ400名のお客様にお話し頂き、望月理事長の挨拶や茶会を代表して鈴木康友浜松市長のご挨拶、新年賀詞などが盛大に行われました。



### 講演例会

2月12日(木)オークラアクティシティホテル浜松にて会員向けの講演例会を行いました。講師に中部大学総合工学研究所 武田和彦教授をお招きし、「日本人の誠情」志〜魂魂からみた日本…あなたはそれでいいですか?〜と題してご講演頂きました。我々が一般的に常識だと思っていた環境問題は実は違った情報が多いということや分かりやすく事例を交えながらご講演頂きました。

## 2月

### 入会式(前期)

3月12日(日)グランドホテル浜松にて3月度例会入会式が行われました。前期入会者10名が新たに浜松青年会議所の仲間になりました。新く講演会では小田日本JC前会頭に「JCだからできること、JCでなければできないこと」と題してご講演頂きました。



### 2009はままつ少年の船

3月22日(日)~24日(火)の日程で第19船日となる はままつ少年の船事業を行いました。役員、スタッフ合わせて600人を乗せ瀬戸内海へ出航しました。初日はあじくの恵天候でしたがその後は天候にも恵まれ子供達は様々な船内研修を通じて新しい仲間との絆を深めていきました。



## 4月

### 公開例会 魅力ある地域創造に向けて

4月9日(木)アクティシティ浜松研修交流センター音楽工房ホールにて4月度公開例会「魅力ある地域創造に向けて」が行われました。会場には教育関係者をはじめ一般から公募された市民の皆様も詰めかけ、第一節では東京都内義務教育初の民間校長として杉並区立和田中学校校長を務められ現在大阪府知事特別顧問としてご活躍の 藤原和博氏 をお迎えしてご講演頂きました。続く第二節では藤原氏、高木浜松市教育長、伊藤浜松市PTA連絡協議会会長をパネリストにお迎えし、浜松JC望月理事長を加えた4名でパネルディスカッションを行いました。



## 5月

### わんぱく相撲浜松場所

5月10日(日)遠州海岸浜公園相撲場にて わんぱく相撲浜松場所が開催されました。五月晴れの中学生の元気な真剣な取組が行われました。最終日には特製ちゃんご餅が配られました。



### LOM内交流例会

5月17日(日)天竜相津マリナーにてLOM内交流例会が行われました。当日は大雨となりましたが、メンバー、家族を含め180人以上が参加しました。バーベキューや船のつかみ取り、カヌー体験など会員同士の家族ぐるみの交流を図りました。

